



豊玉二中だより

令和6年度 第9号

発行日 1月8日(水)

練馬区立豊玉第二中学校

校長 大野 雄一郎

新しい年を迎えて

校長 大野 雄一郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。新年を迎え、生徒たちは新たな気持ちで学校生活をスタートさせました。厳しい寒さの中、体調を崩しやすい時期ですが、元気に学校へ来てくれている姿に、教職員一同、大変うれしく思っています。本年も、生徒一人一人が大きく成長できるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に邁進してまいります。

保護者の皆様におかれましても、本年も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年はへび年ですが、皆さんは、WHO（世界保健機関）のシンボルを見たことがありますか。コロナ禍では頻繁に行われていたWHOの会見

で、知らないうちに目にしていた人も多いかもかもしれません。WHOのシンボルは、杖に巻き付いたへびで

す。毒牙など危険なイメージがあるへびが、なぜ医療や薬学の象徴に思う方も多いでしょうが、実は、へびは脱皮を繰り返すことから、再生や蘇生の象徴とされているのです。そもそもなぜへびは脱皮するのか、

それはへびの体を覆う鱗（うろこ）が硬くて伸び縮みしないため、体が成長すると窮屈さを感じるからです。自分がより大きく成長するために、古い皮を脱ぎ捨てるのです。皆さんの中にも、窮屈さとは言わないまでも「自分は今のままでいいのか」「自分をより成長させたい」と考えている人は少なくないでしょう。少しでも心当たりがあるなら、それは皆さんが成長する兆しです。ぜひ、そのためにはどうしたらよいかを、年の始まりに考えてみてください。



3学期が始まりましたが、最も短い学期で登校日は1・2年生が52日、3年生が49日となっています。短い学期ですが、いろいろな行事があると同時に、卒業式・修了式に向けて、1年の総まとめをしなければなりません。また、次の学年への準備を始める時期でもあります。そのため、各学年の3学期は「4月からの新しい学年の0学期」というように言われたりもします。短いですが、まとめと準備を両立する3学期です。皆さんが、3学期の目標を達成できるようサポートしていきますので、皆さんの充実した取組を期待しています。